

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インドネシア債券オープン （毎月決算型）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2012年2月29日設定）
運用方針	投資信託証券を通じて、主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」（円建て）の受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎月18日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

第12作成期

第65期（決算日	2017年9月19日）
第66期（決算日	2017年10月18日）
第67期（決算日	2017年11月20日）
第68期（決算日	2017年12月18日）
第69期（決算日	2018年1月18日）
第70期（決算日	2018年2月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）」は、上記の決算を行いましたので、ここに当作成期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税 込		投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
			分 配 金	期 中 騰 落 率		
第8作成期	41期 (2015年9月18日)	円 5,828	円 100	% △10.4	% 97.1	百万円 41,769
	42期 (2015年10月19日)	6,336	100	10.4	98.3	45,748
	43期 (2015年11月18日)	6,408	100	2.7	97.9	45,839
	44期 (2015年12月18日)	6,116	100	△ 3.0	97.0	42,626
	45期 (2016年1月18日)	5,886	100	△ 2.1	98.1	40,578
	46期 (2016年2月18日)	6,007	100	3.8	98.3	41,088
第9作成期	47期 (2016年3月18日)	6,042	100	2.2	98.4	41,200
	48期 (2016年4月18日)	5,947	100	0.1	98.4	40,980
	49期 (2016年5月18日)	5,773	100	△ 1.2	98.5	40,353
	50期 (2016年6月20日)	5,448	100	△ 3.9	98.6	38,829
	51期 (2016年7月19日)	5,732	60	6.3	97.9	41,033
	52期 (2016年8月18日)	5,462	60	△ 3.7	98.5	38,833
第10作成期	53期 (2016年9月20日)	5,438	60	0.7	98.4	38,134
	54期 (2016年10月18日)	5,539	60	3.0	98.9	38,427
	55期 (2016年11月18日)	5,404	60	△ 1.4	98.5	37,330
	56期 (2016年12月19日)	5,766	60	7.8	98.1	38,215
	57期 (2017年1月18日)	5,569	60	△ 2.4	97.9	35,069
	58期 (2017年2月20日)	5,546	60	0.7	97.2	33,541
第11作成期	59期 (2017年3月21日)	5,574	60	1.6	98.2	32,957
	60期 (2017年4月18日)	5,404	60	△ 2.0	97.8	32,251
	61期 (2017年5月18日)	5,485	60	2.6	98.0	32,686
	62期 (2017年6月19日)	5,477	60	0.9	95.7	33,514
	63期 (2017年7月18日)	5,480	60	1.2	98.2	34,317
	64期 (2017年8月18日)	5,361	60	△ 1.1	98.2	34,586
第12作成期	65期 (2017年9月19日)	5,517	60	4.0	98.6	35,571
	66期 (2017年10月18日)	5,386	60	△ 1.3	98.4	33,908
	67期 (2017年11月20日)	5,320	60	△ 0.1	98.1	33,395
	68期 (2017年12月18日)	5,317	60	1.1	97.9	32,628
	69期 (2018年1月18日)	5,376	60	2.2	98.7	32,244
	70期 (2018年2月19日)	4,993	30	△ 6.6	96.6	29,545

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

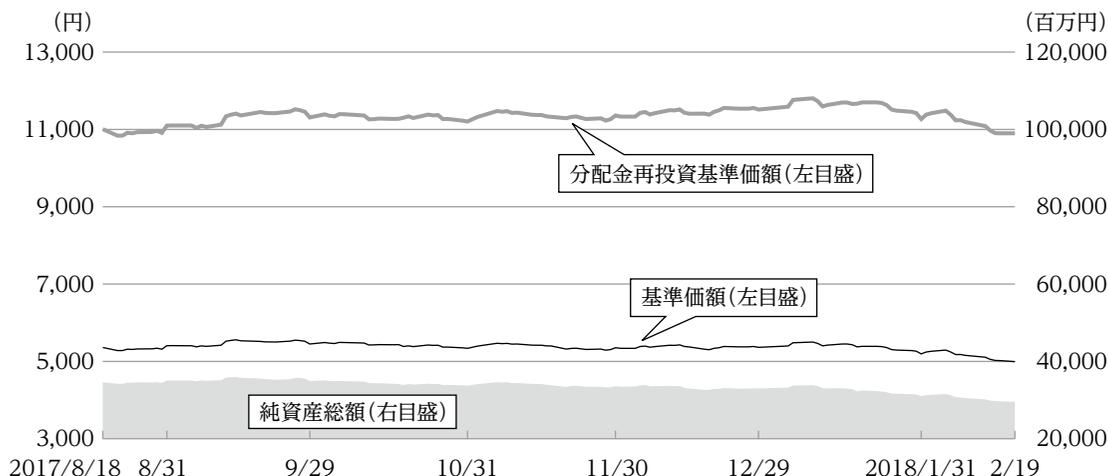
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投資信託証券 組入比率
第65期	(期 首)	円		%	%
	2017年8月18日	5,361		—	98.2
	8月末	5,406		0.8	98.3
	(期 末)				
	2017年9月19日	5,577		4.0	98.6
第66期	(期 首)				
	2017年9月19日	5,517		—	98.6
	9月末	5,449		△1.2	98.7
	(期 末)				
	2017年10月18日	5,446		△1.3	98.4
第67期	(期 首)				
	2017年10月18日	5,386		—	98.4
	10月末	5,339		△0.9	98.1
	(期 末)				
	2017年11月20日	5,380		△0.1	98.1
第68期	(期 首)				
	2017年11月20日	5,320		—	98.1
	11月末	5,354		0.6	98.2
	(期 末)				
	2017年12月18日	5,377		1.1	97.9
第69期	(期 首)				
	2017年12月18日	5,317		—	97.9
	12月末	5,365		0.9	96.8
	(期 末)				
	2018年1月18日	5,436		2.2	98.7
第70期	(期 首)				
	2018年1月18日	5,376		—	98.7
	1月末	5,193		△3.4	98.0
	(期 末)				
	2018年2月19日	5,023		△6.6	96.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2017年8月19日～2018年2月19日)



第65期首	5,361円
第70期末	4,993円(既払分配金330円)
騰落率	-1.0%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

下落要因



・インドネシアルピアが対円で下落したこと。

インドネシア債券市場

2017年8月から2ヵ月連続でインドネシア中央銀行（BI）が利下げを決定したことを受けて、インドネシア債券の利回りは低下（価格は上昇）しました。しかし、米国の税制改革への期待や主要銀行による金融政策正常化などの予測を背景に、世界的に債券利回りが上昇（価格は下落）したことから、インドネシア債券の利回りも10月下旬にかけて上昇傾向となりました。その後、米国の利上げ観測が高まりましたが、インドネシア債券市場における投資家からの需要は根強く、利回りは低下しました。12月から2018年1月上旬にかけては大手格付会社フィッチ・レーティングスによるインドネシア国債の格上げや、外国人投資家からの資金流入を背景に利回りはさらに低下しました。しかし、2月上旬に米国のインフレ率上昇への懸念から米国債利回りが急上昇し、世界的にリスク回避姿勢が強まると、インドネシア債券市場からも外国人投資家を中心に資金流出がみられ、当作成期末にかけて利回りは上昇しました。

為替市場

外国人投資家からの債券市場への資金流入などを背景に当作成期初から対米ドルで堅調に推移していたインドネシアルピアは、2017

年9月下旬には米国の利上げ観測や朝鮮半島の緊張の高まりなどから下落しました。その後は米国金利の先高観などが強まり、ルピアは上値の重い展開となりましたが、2018年1月に入り、外国人投資家の資金流入などを背景にルピア買いが強まりました。その後当作成期末にかけて、米国長期金利の上昇や世界的な株価急落を受けたリスク回避姿勢が強まり、ルピアは再び下落しました。一方、日銀の金融政策の正常化観測や世界的株安から当作成期末にかけてリスク回避の円高が進み、対円ではルピアは大幅安となりました。

国内債券市場

2017年9月末に米国債利回りの上昇や日本国債格下げの可能性が報道されたことから、日本国債利回りは一時上昇（価格は下落）しましたが、その後は手掛かり材料難の中、もみ合いとなりました。2018年1月には、世界的株高や原油高を背景としたリスク選好の強まりや、超長期国債買い入れオペの減額などを受けて利回りは上昇しましたが、2月に入り、米国長期金利の急上昇を受けて世界的に株価が急落し、リスク回避姿勢が強まったことから、日本国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド（以下「インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

主として、インドネシアの債券に投資を行い、インカムゲインの確保とトータル・リター

ンの最大化を目指して運用を行いました。当作成期は債券価格は上昇したものの、通貨ルピアが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	2017年8月19日 ~2017年9月19日	2017年9月20日 ~2017年10月18日	2017年10月19日 ~2017年11月20日	2017年11月21日 ~2017年12月18日	2017年12月19日 ~2018年1月18日	2018年1月19日 ~2018年2月19日
当期分配金 (円)	60	60	60	60	60	30
(対基準価額比率) (%)	1.076	1.102	1.115	1.116	1.104	0.597
当期の収益 (円)	35	31	29	33	47	29
当期の収益以外 (円)	24	28	30	26	12	0
翌期繰越分配対象額 (円)	480	452	423	396	385	385

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) -印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・ボンド・マスター・ファンドへの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・ボンド・マスター・ファンド

米国債利回りが上昇する中で、インドネシア中央銀行（B I）は政策金利を2017年10月以降据え置いており、今後の利下げ余地が限定的であることを強調しています。食料品価格が安定し、電気やガソリンなどの統制価格の変更がなければ、今後もインフレ率はB Iの目標レンジ内で安定的に推移すると思われます。先進国の中央銀行が金融正常化を進める過程で、予想以上にB Iが引き締め姿勢を強めた場合や原油価格が高騰する場合などは、外国人投資家の保有比率が高いインドネシア債券市場では市場変動性が高まるリスクも考えられ、注意が必要です。一方で、国内のファンダメンタルズは良好であり、利回り

が大幅に上昇するような局面があれば割安な水準での組入れの好機となるとみています。市場の変動局面では機動的にデュレーションをコントロールし、市場を取り巻くリスクに注意を払いながら運用を行っていく方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型I（適格機関投資家向け）

日本国債は日銀の金融緩和を背景に今後も利回りは低位で安定的に推移するものとみています。しかし、国内債券市場の流動性は低下しており、海外金利の動向などで市場が一時的に不安定化する可能性もあり注意が必要です。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1万口当たりの費用明細

(2017年8月19日～2018年2月19日)

項目	第65期～第70期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	33円	0.619%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、5,351円です。
(投信会社)	(12)	(0.217)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(21)	(0.389)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.005	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	33	0.624	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

売買及び取引の状況

(2017年8月19日から2018年2月19日まで)

投資信託証券

決 算 期			第 65 期 ~ 第 70 期			
			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
			千口	千円	千口	千円
外国	邦 貨 建 ケイマン諸島籍	イーストスプリング・インベストメンツ・ インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	3,062,722	2,240,928	8,646,948	6,300,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2017年8月19日から2018年2月19日まで)

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2018年2月19日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	前作成期末 (第64期末)	当 作 成 期 末 (第 70 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・ インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	47,291,314	41,707,088	28,523,477	96.5
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	21,843	21,843	23,730	0.1
合 計	47,313,158	41,728,932	28,547,208	96.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2018年2月19日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 70 期 末)	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円	%
	28,547,208	95.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,331,335	4.5
投 資 信 託 財 産 総 額	29,878,543	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2017年9月19日)	(2017年10月18日)	(2017年11月20日)	(2017年12月18日)	(2018年1月18日)	(2018年2月19日)現在
	第 65 期 末	第 66 期 末	第 67 期 末	第 68 期 末	第 69 期 末	第 70 期 末
(A) 資 産	36,271,411,113円	34,604,402,117円	34,172,949,502円	33,539,722,454円	33,265,634,851円	29,878,543,439円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,183,730,475	1,044,237,041	1,107,420,225	1,191,349,843	951,624,065	1,131,334,610
投資信託受益証券(評価額)	35,087,680,638	33,360,165,076	32,765,529,277	31,948,372,611	31,814,010,786	28,547,208,829
未 収 入 金	-	200,000,000	300,000,000	400,000,000	500,000,000	200,000,000
(B) 負 債	699,726,508	696,305,456	777,274,469	911,046,990	1,020,923,067	332,681,204
未 払 収 益 分 配 金	386,860,609	377,765,764	376,612,956	368,233,126	359,879,789	177,525,207
未 払 解 約 金	275,127,470	284,066,203	362,144,211	510,334,821	625,270,857	120,079,853
未 払 信 託 報 酬	37,437,749	33,897,878	37,640,308	31,341,319	34,346,944	33,352,406
未 払 利 息	3,048	2,546	2,700	3,002	2,424	2,758
そ の 他 未 払 費 用	297,632	573,065	874,294	1,134,722	1,423,053	1,720,980
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	35,571,684,605	33,908,096,661	33,395,675,033	32,628,675,464	32,244,711,784	29,545,862,235
元 本	64,476,768,202	62,960,960,668	62,768,826,164	61,372,187,715	59,979,964,854	59,175,069,190
次 期 繰 越 損 益 金	△28,905,083,597	△29,052,864,007	△29,373,151,131	△28,743,512,251	△27,735,253,070	△29,629,206,955
(D) 受 益 権 総 口 数	64,476,768,202口	62,960,960,668口	62,768,826,164口	61,372,187,715口	59,979,964,854口	59,175,069,190口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	5,517円	5,386円	5,320円	5,317円	5,376円	4,993円

(注1) 元本の状況

当ファンドの第65期首元本額は64,518,576,927円、第65~70期中追加設定元本額は8,572,504,284円、第65~70期中一部解約元本額は13,916,012,021円です。

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

第65期（自2017年8月19日至2017年9月19日）、第66期（自2017年9月20日至2017年10月18日）
 第67期（自2017年10月19日至2017年11月20日）、第68期（自2017年11月21日至2017年12月18日）
 第69期（自2017年12月19日至2018年1月18日）、第70期（自2018年1月19日至2018年2月19日）

項目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
(A) 配当等収益	236,077,441円	229,553,971円	226,014,956円	221,686,851円	299,708,622円	209,494,425円
受取配当金	236,141,634	229,606,286	226,083,078	221,746,333	299,785,585	209,562,190
支払利息	△ 64,193	△ 52,315	△ 68,122	△ 59,482	△ 76,963	△ 67,765
(B) 有価証券売買損益	1,193,663,831	△ 648,372,198	△ 225,082,630	147,960,929	443,250,520	△ 2,250,035,100
売買益	1,201,369,155	11,405,304	1,642,385	158,501,949	459,041,415	27,998,263
売買損	△ 7,705,324	△ 659,777,502	△ 226,725,015	△ 10,541,020	△ 15,790,895	△ 2,278,033,363
(C) 信託報酬等	△ 37,735,381	△ 34,176,163	△ 37,947,241	△ 31,601,747	△ 34,635,275	△ 33,650,333
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	1,392,005,891	△ 452,994,390	△ 37,014,915	338,046,033	708,323,867	△ 2,074,191,008
(E) 前期繰越損益金	△ 3,504,904,029	△ 2,223,117,227	△ 2,769,972,568	△ 2,866,718,687	△ 2,619,262,395	△ 2,118,309,202
(F) 追加信託差損益金	△ 26,405,324,850	△ 25,998,986,626	△ 26,189,550,692	△ 25,846,606,471	△ 25,464,434,753	△ 25,259,181,538
(配当等相当額)	(2,186,154,342)	(2,009,418,936)	(1,855,258,952)	(1,649,960,305)	(1,468,525,234)	(1,395,993,052)
(売買損益相当額)	(△28,591,479,192)	(△28,008,405,562)	(△28,044,809,644)	(△27,496,566,776)	(△26,932,959,987)	(△26,655,174,590)
(G) 計(D+E+F)	△ 28,518,222,988	△ 28,675,098,243	△ 28,996,538,175	△ 28,375,279,125	△ 27,375,373,281	△ 29,451,681,748
(H) 収益分配金	△ 386,860,609	△ 377,765,764	△ 376,612,956	△ 368,233,126	△ 359,879,789	△ 177,525,207
次期繰越損益金(G+H)	△ 28,905,083,597	△ 29,052,864,007	△ 29,373,151,131	△ 28,743,512,251	△ 27,735,253,070	△ 29,629,206,955
追加信託差損益金	△ 26,562,338,129	△ 26,181,374,582	△ 26,378,095,933	△ 26,012,104,314	△ 25,538,577,790	△ 25,260,862,653
(配当等相当額)	(2,029,141,063)	(1,827,030,980)	(1,666,713,711)	(1,484,462,462)	(1,394,382,197)	(1,394,311,937)
(売買損益相当額)	(△28,591,479,192)	(△28,008,405,562)	(△28,044,809,644)	(△27,496,566,776)	(△26,932,959,987)	(△26,655,174,590)
分配準備積立金	1,069,968,993	1,022,190,459	990,028,284	951,692,736	915,891,832	887,368,128
繰越損益金	△ 3,412,714,461	△ 3,893,679,884	△ 3,985,083,482	△ 3,683,100,673	△ 3,112,567,112	△ 5,255,712,430

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

第65期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(229,847,330円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,186,154,342円)および分配準備積立金(1,069,968,993円)より、分配対象収益は3,485,970,665円(10,000口当たり540円)であり、うち386,860,609円(10,000口当たり60円)を分配金額としております。

第66期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(195,377,808円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,009,418,936円)および分配準備積立金(1,022,190,459円)より、分配対象収益は3,226,987,203円(10,000口当たり512円)であり、うち377,765,764円(10,000口当たり60円)を分配金額としております。

第67期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(188,067,715円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,855,258,952円)および分配準備積立金(990,028,284円)より、分配対象収益は3,033,354,951円(10,000口当たり483円)であり、うち376,612,956円(10,000口当たり60円)を分配金額としております。

第68期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(202,735,283円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,649,960,305円)および分配準備積立金(951,692,736円)より、分配対象収益は2,804,388,324円(10,000口当たり456円)であり、うち368,233,126円(10,000口当たり60円)を分配金額としております。

第69期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(285,736,752円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,468,525,234円)および分配準備積立金(915,891,832円)より、分配対象収益は2,670,153,818円(10,000口当たり445円)であり、うち359,879,789円(10,000口当たり60円)を分配金額としております。

第70期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(175,844,092円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,395,993,052円)および分配準備積立金(887,368,128円)より、分配対象収益は2,459,205,272円(10,000口当たり415円)であり、うち177,525,207円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決算期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
1万口当たり分配金（税引前）	60円	60円	60円	60円	60円	30円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

- ※法人の受益者に対する課税は異なります。
- ※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド	
形態	ケイマン籍外国投資信託／オープン・エンド型	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	主としてインドネシアの債券に投資を行うことにより、インカム・ゲインの確保とトータル・リターン・の最大化を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドネシアの国債、政府保証債、政府機関債、準国債、地方債および社債	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	管理会社	ステート・ストリート・ケイマン・トラスト・カンパニー・リミテッド
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・同一発行体の発行する公社債への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以内とします。ただし、国債、政府保証債、国際機関債についてはこの限りではありません。 ・信託財産の純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。 ・デリバティブ取引（NDF取引を含みます。）の利用は、ヘッジ目的に限定しません。 	
収益分配	原則として毎月分配を行う方針です。	
申込手数料	ありません。	
運用報酬および管理費用等	年率0.45%（上限）	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料等、その他の費用（法務および監査費用を含みます。）がかかります。	
設定日	2012年2月29日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）※	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.216%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※ ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インドネシア・ボンド・マスター・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2016年12月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

包括利益計算書

2016年12月31日に終了した事業年度

	日本円
投資収益	
受取利息	3,215,274,383
損益を通じて公正価値で測定する金融商品における実現純損益	(1,127,564,272)
外国為替取引に係る実現純損益	(7,111,565)
損益を通じて公正価値で測定する金融商品における未実現評価損益の変動額	3,034,415,438
外国為替取引に係る未実現評価損益の変動額	47,529,813
外国為替先渡取引に係る未実現評価損益の変動額	3,383,585
投資収益（損失）合計	5,165,927,382
費用	
運用報酬	140,362,720
管理事務・保管・受託費用	38,830,662
監査費用	4,027,125
設定費用償却	2,184,376
費用合計	185,404,883
税引前利益（損失）	4,980,522,499
源泉税	(904,702,945)
当期純利益（損失）	4,075,819,554

投資有価証券明細表（未監査）（2016年12月31日現在）

銘柄	額面	評価額 (日本円)	取得金額 (日本円)	対純資産 比率 (%)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
社債及び国債				
Indosat Tbk PT	22,000,000,000	199,056,442	211,832,367	0.56
Indosat Tbk PT	42,000,000,000	381,021,807	395,478,162	1.08
Indonesia Treasury Bond	24,750,000,000	266,528,264	272,071,244	0.76
Indonesia Treasury Bond	53,950,000,000	524,966,290	547,764,988	1.49
Indonesia Treasury Bond	6,650,000,000	74,588,807	77,769,564	0.21
Indonesia Treasury Bond	34,950,000,000	371,353,367	382,343,858	1.05
Indonesia Treasury Bond	76,750,000,000	807,976,957	816,371,661	2.29
Indonesia Treasury Bond	52,700,000,000	544,874,843	568,730,493	1.54
Indonesia Treasury Bond	60,650,000,000	613,993,962	627,041,687	1.74
Indonesia Treasury Bond	31,700,000,000	318,004,323	331,959,282	0.90
Indonesia Treasury Bond	69,624,000,000	733,587,255	747,685,004	2.08
Indonesia Treasury Bond	319,000,000,000	2,941,207,376	2,840,768,687	8.33
Indonesia Treasury Bond	82,400,000,000	814,788,135	831,147,282	2.31
Indonesia Treasury Bond	320,500,000,000	2,924,168,860	2,782,945,489	8.28
Indonesia Treasury Bond	55,786,000,000	537,061,585	549,974,286	1.52
Indonesia Treasury Bond	130,750,000,000	1,130,299,484	1,204,320,528	3.20
Indonesia Treasury Bond	94,895,000,000	785,620,701	814,277,928	2.23
Indonesia Treasury Bond	126,072,000,000	1,076,909,890	1,113,602,196	3.05
Indonesia Treasury Bond	53,800,000,000	367,979,347	401,173,183	1.04
Indonesia Treasury Bond	92,500,000,000	686,565,183	728,503,798	1.94
Indonesia Treasury Bond	106,950,000,000	829,882,155	878,556,744	2.35
Indonesia Treasury Bond	145,050,000,000	1,079,182,030	1,152,492,782	3.06
Indonesia Treasury Bond	289,900,000,000	2,592,527,856	2,707,713,993	7.34
Indonesia Treasury Bond	466,678,000,000	4,234,834,690	4,417,549,869	12.00
Indonesia Treasury Bond	274,485,000,000	2,580,058,108	2,653,130,544	7.31
Indonesia Treasury Bond	81,479,000,000	742,665,082	752,755,335	2.10
Indonesia Treasury Bond	193,433,000,000	1,718,600,835	1,786,998,567	4.87
Indonesia Treasury Bond	163,000,000,000	1,438,949,488	1,379,398,867	4.08
Indonesia Treasury Bond	174,000,000,000	1,595,782,596	1,532,461,717	4.52
Indonesia Treasury Bond	14,000,000,000	150,312,150	146,104,021	0.43
Indonesia Treasury Bond	43,000,000,000	444,537,331	453,374,010	1.26
Indonesia Treasury Bond	56,000,000,000	553,569,044	567,902,740	1.57

銘柄	額面	評価額 (日本円)	取得金額 (日本円)	対純資 産比率 (%)
Indonesia Treasury Bond	75,035,000,000	730,788,418	720,056,748	2.07
Indonesia Treasury Bond	29,000,000,000	283,776,243	289,631,928	0.80
Indonesia Treasury Bond	42,888,000,000	428,490,627	434,986,430	1.21
外国為替先渡取引に係る未実現評価益		2,476,392	—	0.01
損益を通じて公正価値で測定する金融資産合計		35,506,985,923	36,118,875,982	100.58
ポートフォリオ合計		35,506,985,923	36,118,875,982	100.58

「イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/2/26 ～2017/2/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.217%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,968円です。
（投信会社）	(15)	(0.141)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	6	0.052	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(6)	(0.051)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	30	0.269	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2017年2月27日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率				
					5年以上	2年以上	2年未満		
国債証券	千円 738,000	千円 804,874	% 99.0	% —	% 42.2	% 40.7	% 16.1		
合計	738,000	804,874	99.0	—	42.2	40.7	16.1		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	第112回 利付国債（5年）	0.4	40,000	40,358	2018/06/20
	第285回 利付国債（10年）	1.7	80,000	80,080	2017/03/20
	第298回 利付国債（10年）	1.3	10,000	10,284	2018/12/20
	第300回 利付国債（10年）	1.5	8,000	8,287	2019/03/20
	第301回 利付国債（10年）	1.5	25,000	25,998	2019/06/20
	第305回 利付国債（10年）	1.3	7,000	7,295	2019/12/20
	第306回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,972	2020/03/20
	第310回 利付国債（10年）	1.0	25,000	26,041	2020/09/20
	第311回 利付国債（10年）	0.8	50,000	51,725	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	26,483	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	21,165	2021/06/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	43,378	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	55,085	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	44,302	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	32,627	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	55,973	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	51,264	2024/03/20
	第69回 利付国債（20年）	2.1	40,000	46,135	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	23,410	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	58,000	68,170	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	65,833	2026/03/20
合 計			738,000	804,874	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。